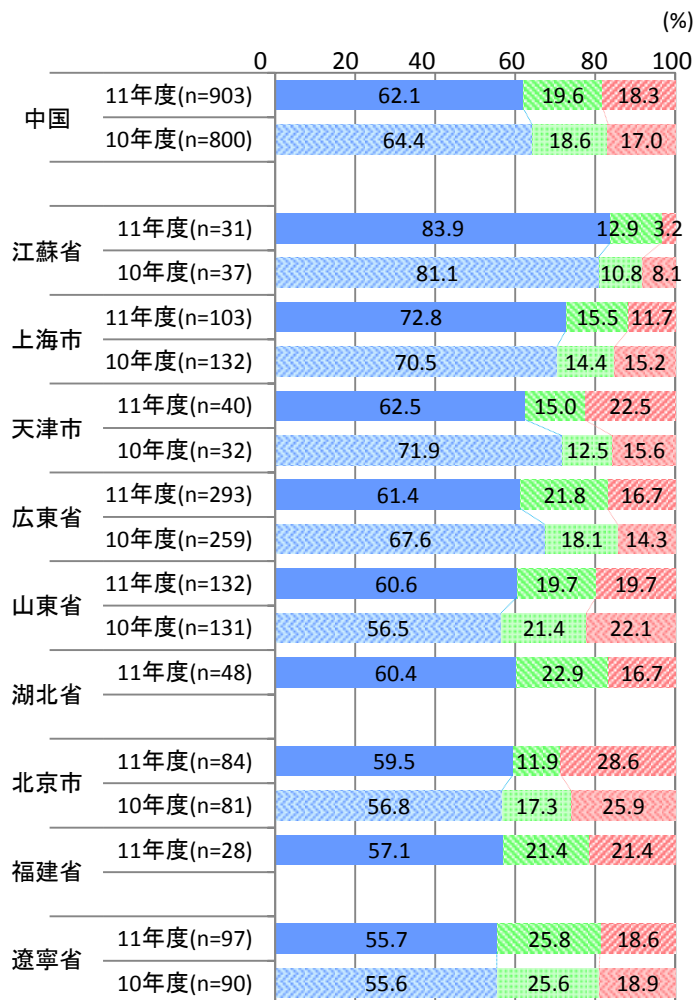


1. 営業利益見通し(1)

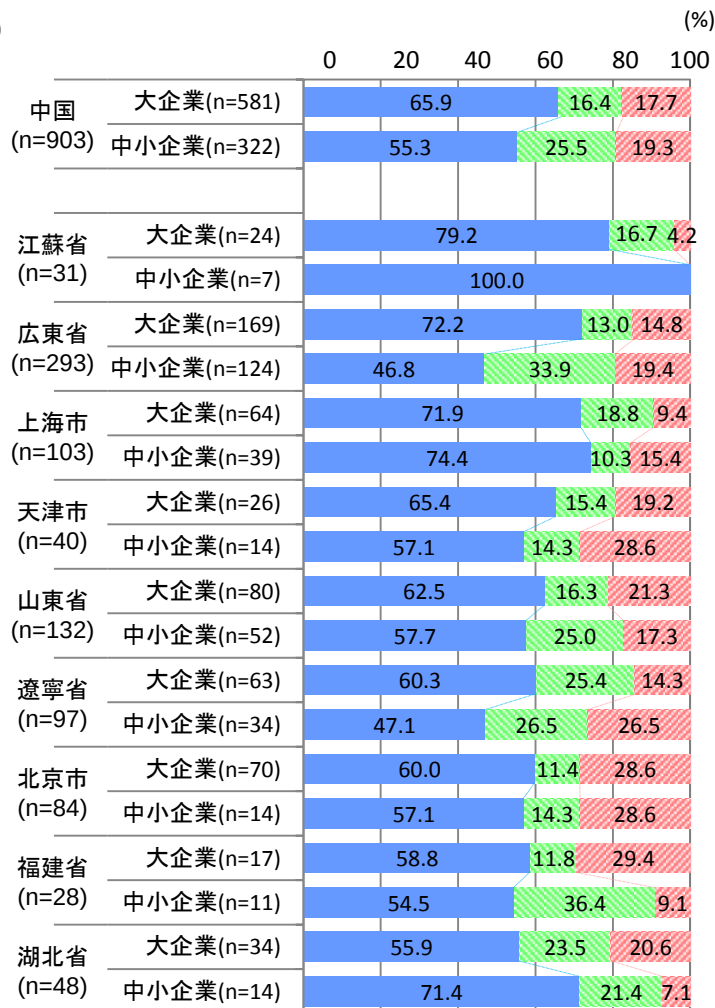
2011年の営業利益見込み(中国 省市別、企業規模別)

(注1)2011年度の有効回答が10社以上の省市のみ掲載。
(注2)湖北省、福建省は、有効回答10社以上となった2011年度調査のみ掲載。

省市別



企業規模別



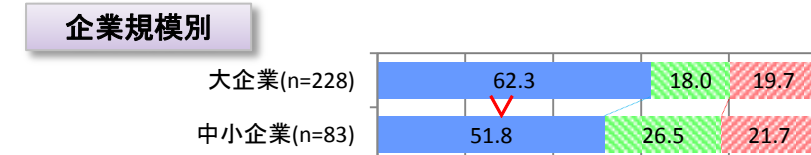
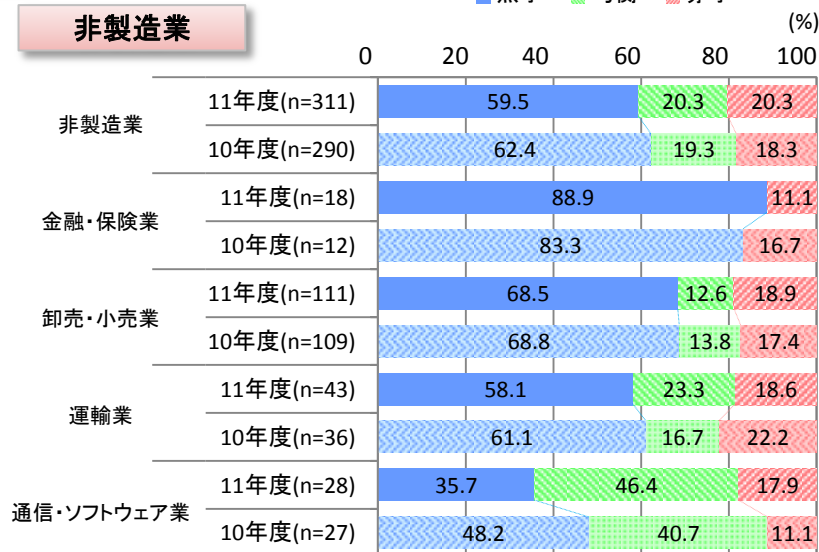
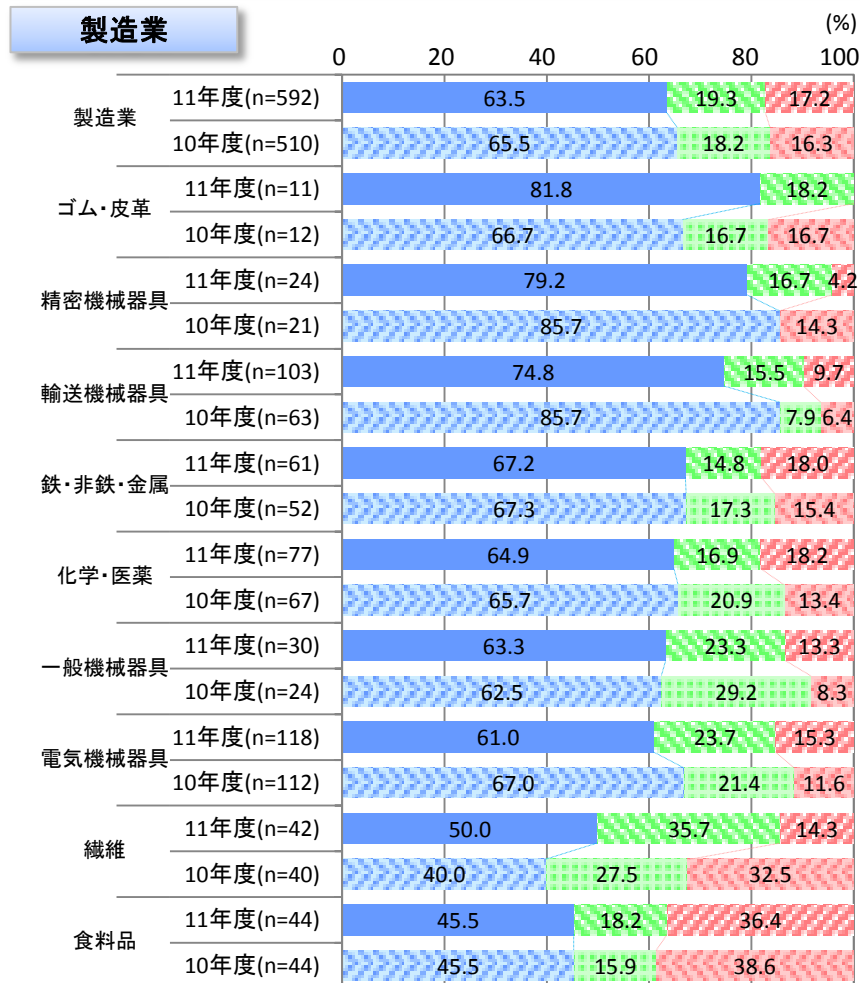
- 中国について、2011年の営業利益見込みを「黒字」とした企業の割合は62.1%。10年度の64.4%から2.3ポイント低下。
- 省市別に「黒字」と回答した企業の割合をみると、江蘇省が約8割、上海市が約7割、天津市、広東省、山東省、湖北省、北京市が約6割。
- 企業規模別では、大企業(65.9%)のほうが、中小企業(55.3%)より10.6ポイント「黒字」と回答した企業の割合が高いものの、ポイント差は前年度の20.4ポイントより縮小した。
- 江蘇省、上海市、湖北省では、中小企業で「黒字」と回答した企業の割合が7割を超える。

1. 営業利益見通し(2)

2011年の営業利益見込み(中国 業種別、企業規模別)

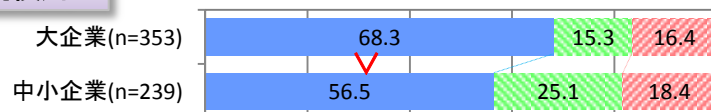
(注)2011年度の有効回答が10社以上の業種のみ掲載。

■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字



- 業種別にみると、「黒字」と回答した企業の割合は、製造業(63.5%)が非製造業(59.5%)を4.0ポイント上回った。
- 有効回答10社以上の業種で黒字企業の割合が高いのは、製造業ではゴム・皮革(81.8%)、精密機械器具(79.2%)、非製造業では金融・保険業(88.9%)。他方、黒字企業の割合が低い業種は、製造業では食料品(45.5%)、繊維(50.0%)、非製造業では通信・ソフトウェア業(35.7%)。
- 輸送機械器具は、10年度より黒字企業の割合が10ポイント以上低下(85.7%⇒74.8%)。
- 企業規模別でみると、製造業、非製造業ともに、大企業は中小企業より10ポイント以上、黒字企業の割合が高い。

企業規模別

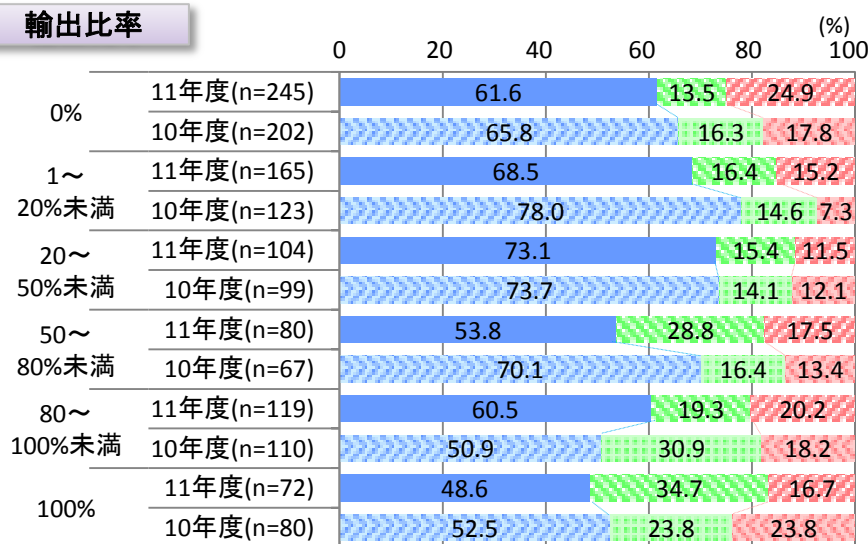


1. 営業利益見通し(3)

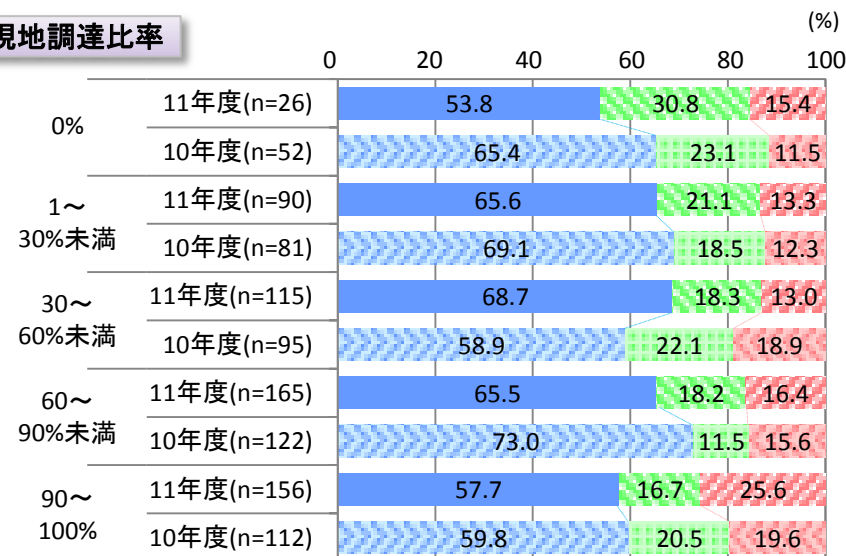
2011年の営業利益見込み(中国 輸出比率別、現地調達比率別、従業員規模別)

■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字

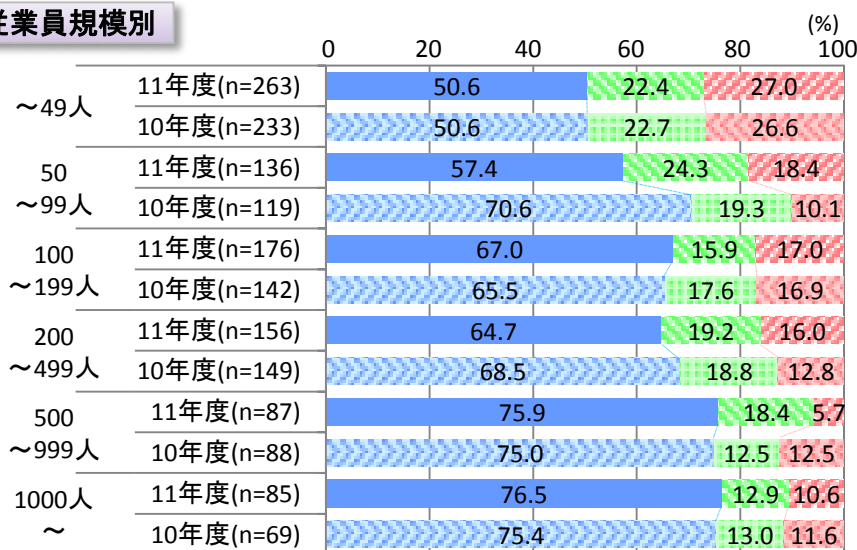
輸出比率



現地調達比率



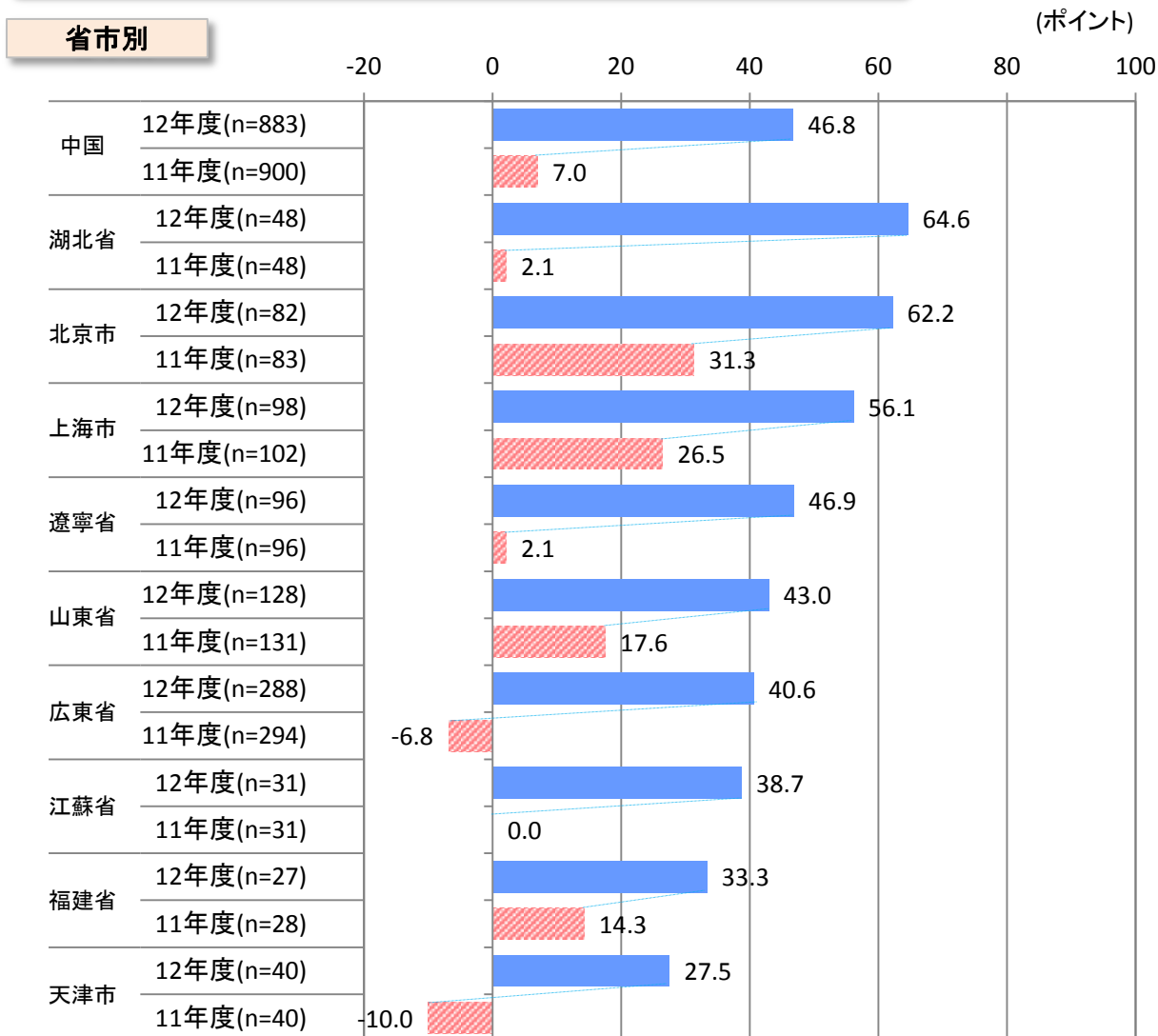
従業員規模別



- 輸出比率別に営業利益見通しをみると、輸出比率が高い企業ほど相対的に黒字企業の割合が低い傾向がみられた。
- 現地調達比率は、営業損益との明確な関係性はみられなかった。
- 従業員規模別に黒字企業の割合をみたところ、従業員数が多いほど、「黒字」と回答した企業の割合が高い傾向がみられた。

1. 営業利益見通し(4)

DI値で見た11年、12年営業利益見通し(中国 省市別)



- 営業利益見込みについて景況感を示すDI値でみると、中国全体では、12年度のDI値は46.8ポイントと11年度(7.0ポイント)から大きく改善。
- 12年度はすべての対象省市で11年度より「改善」する企業の割合が、「悪化」を上回った(DI値がプラス)。
- 省市別にみると、12年度のDI値は湖北省(64.6ポイント)、北京市(62.2ポイント)が高い。11年度のDI値は北京市(31.3ポイント)、上海市(26.5ポイント)が高い。

(注) DI値とはDiffusion Indexの略で、「改善」と回答した企業の割合から、「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた値。景況感を表す指標として用いられる。

1. 営業利益見通し(5)

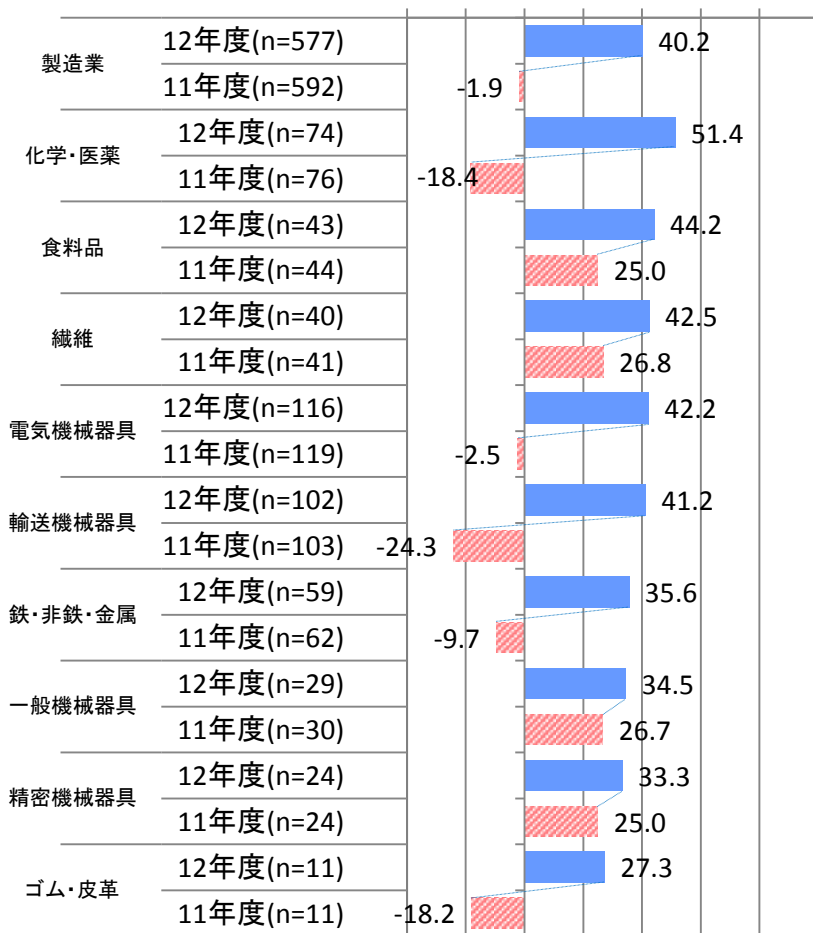
DI値で見た11年、12年営業利益見通し(中国 業種別)

(注)有効回答10社以上の業種のみ掲載。

製造業

(ポイント)

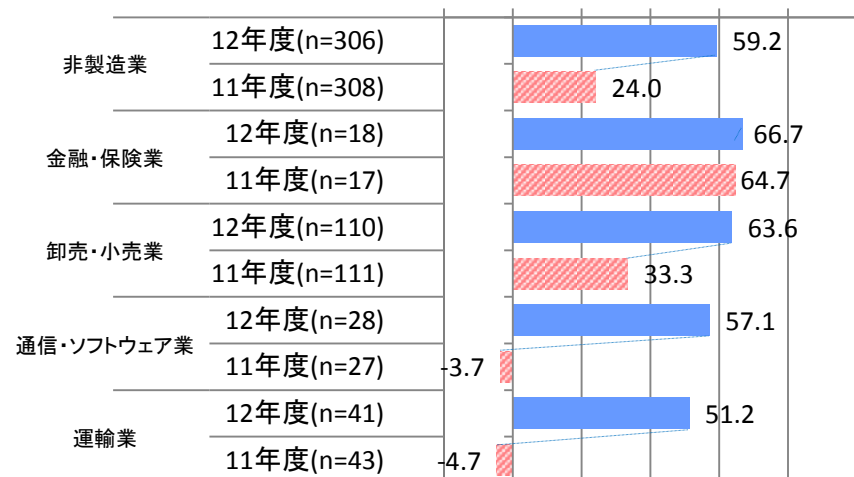
-40 -20 0 20 40 60 80 100



非製造業

(ポイント)

-20 0 20 40 60 80 100



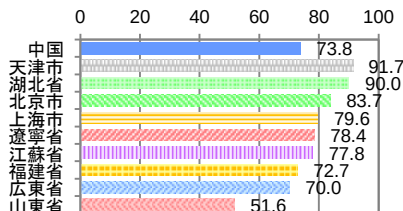
- 業種別にDI値をみると、11年度の見通しは製造業(マイナス1.9ポイント)、非製造業(24.0ポイント)、12年度の見通しは製造業(40.2ポイント)、非製造業(59.2ポイント)と、ともに非製造業が高い。
- 有効回答10社以上の業種で11年度のDI値が高いのは、製造業では繊維(26.8ポイント)、一般機械器具(26.7ポイント)、非製造業では金融・保険業(64.7ポイント)。他方、11年度のDI値が低いのは、製造業では輸送機械器具(マイナス24.3ポイント)。
- 12年度については、製造業では化学・医薬(51.4ポイント)を始めすべての業種でDI値プラス。非製造業では金融・保険業(66.7ポイント)を始めすべての対象業種で50ポイントを上回った。

1. 営業利益見通し(6)

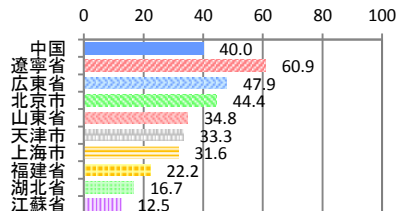
11年の営業利益が改善する理由(複数回答、上位5項目)

省市別 (%)

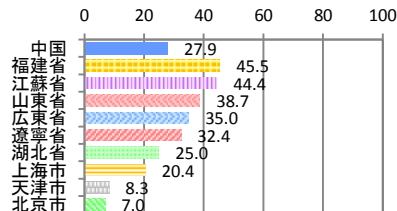
現地市場での売上増加



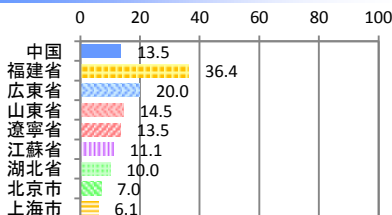
生産効率の改善(製造業のみ)



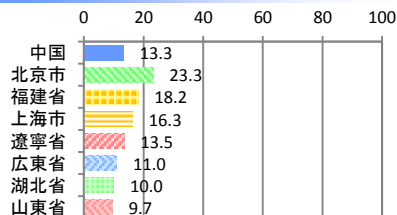
輸出拡大による売上増加



調達コストの削減



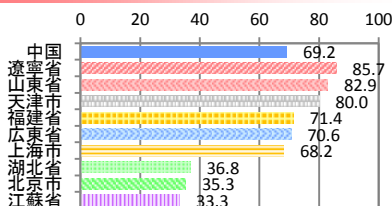
販売効率の改善



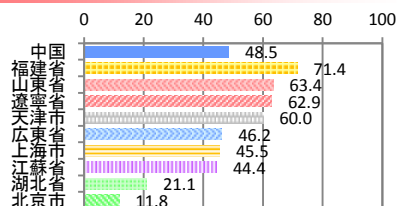
11年の営業利益が悪化する理由(複数回答、上位5項目)

省市別 (%)

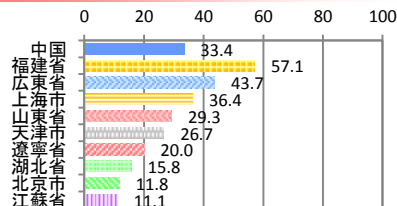
人件費の上昇



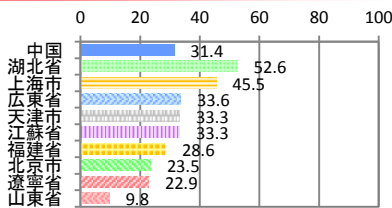
調達コストの上昇



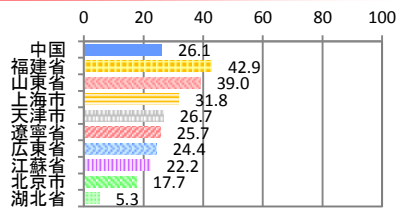
為替変動



現地市場での売上減少



その他支出(管理費、光熱費、燃料費等)の増加



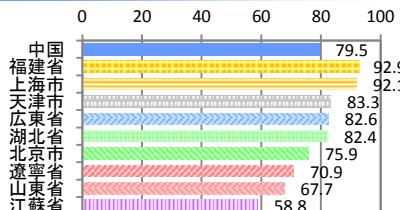
- 11年度の営業利益が「改善」と回答した企業にその理由を複数回答で尋ねたところ、「現地市場での売上増加」(73.8%)が最も多く、とりわけ天津市、湖北省、北京市では8割を超えた。
- 遼寧省では「生産効率の改善」(60.9%)の割合が高く、福建省、江蘇省では「輸出拡大による売上増加」(それぞれ45.5%、44.4%)の割合が相対的に高い。
- 11年度の営業利益が「悪化」する理由については、「人件費の上昇」(69.2%)がとりわけ高い。以下、「調達コストの上昇」(48.5%)、「為替変動」(33.4%)、「現地市場での売上減少」(31.4%)、「その他支出の増加」(26.1%)が続く、「輸出低迷による売上減少」(24.1%)を上回った。

1. 営業利益見通し(7)

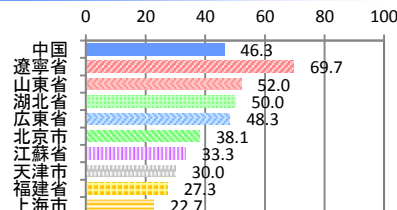
12年の営業利益が改善する理由(複数回答、上位5項目)

省市別 (%)

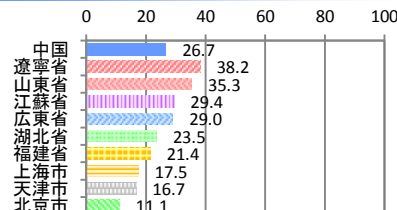
現地市場での売上増加



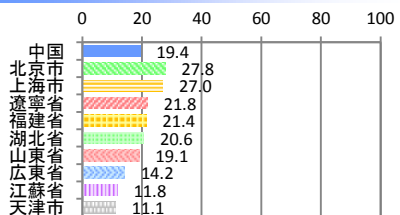
生産効率の改善(製造業のみ)



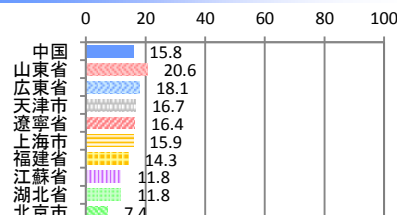
輸出拡大による売上増加



販売効率の改善



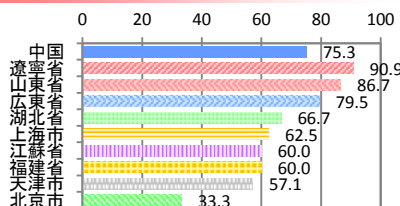
調達コストの削減



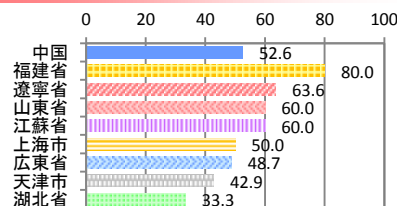
12年の営業利益が悪化する理由(複数回答、上位5項目)

省市別 (%)

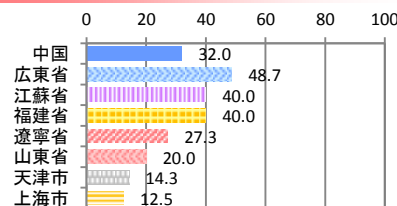
人件費の上昇



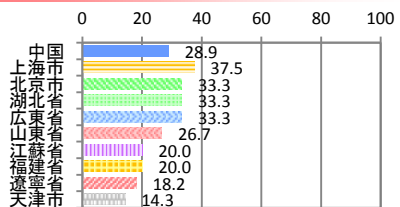
調達コストの上昇



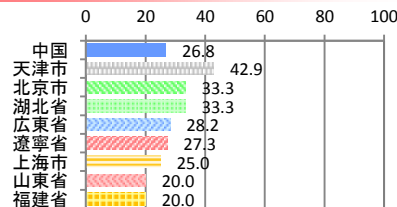
為替変動



その他支出(管理費、光熱費、燃料費等)の増加



不十分な価格転嫁



- 12年度の営業利益が「改善」と回答した企業にその理由を複数回答で尋ねた結果では、「現地市場での売上増加」(79.5%)が高く、11年度と同様に国内販売が営業利益改善を牽引する傾向が強い。以下、「生産効率の改善」(46.3%)、「輸出拡大による売上増加」(26.7%)が上位項目に上がった。
- 遼寧省では、「生産効率の改善」を挙げる企業の割合が69.7%と相対的に高い。
- 12年度の営業利益が「悪化」する理由については、「人件費の上昇」(75.3%)が最も多い。
- その他、「調達コストの上昇」(52.6%)、「為替変動」(32.0%)が続いている。